

13. ピアレジーナの22年産

牝

父：コパノリッキー

母の父：タイキシャトル(USA)

2022年3月25日生(栗毛)

美浦・菊沢隆徳厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ

繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額1,500万円／一口出資金37,500円／月々の維持費 1,750円／1口



コパノリッキー 栗毛 1999年	ゴールドアリュール	サンデーサイレンス(USA)
	栗毛 1999年	ニキーヤ(USA)
コパノニキータ 栗毛 2001年	コパノニキータ	ティンバーカントリー(USA)
	栗毛 2001年	ニホンピロローズ
ピアレジーナ 栗毛 2016年	タイキシャトル(USA)	Devil's Bag(USA)
	栗毛 1994年	ウェルシュマフィン(GB)
	アッシュベリー	Any Given Saturday(USA)
	栗毛 2009年	アシェラフ(USA)

Halo:S4×M4

Family Line

母 ピアレジーナ

不出走、本馬は第2仔
タイキエルキーオ：出走、現役

祖母 アッシュベリー

出走
エヴェリーナ：1勝
タイキフェルヴール：5勝 師走S(L)
タイキフォース：3勝、現役
タイキラフター：1勝、現役

曾祖母 アシェラフ(USA)

米首2勝

4代母 Cinnamon Sugar(USA)

米6勝 ロングルックH(G2)、エイコーンS(G1)2着、
マザーグースS(G1)2着、ガゼルH(G1)2着
[孫]ディスクリートリーブランド：米4勝

5代母 Sugar and Spice(USA)

米5勝 マザーグースS(G1)、アシュランドS(G2)
コティリオンS(G2)、レイディーズH(G1)2着
シュアターン：米2勝 種牡馬
[孫]オールスパイス：米4勝 シクステイセイルズH(G3)
[曾孫]カントリーフレイヴァー：米10勝 ハンシンC(G3)

Broodmare Sire

母の父 タイキシャトル(USA)

1994年生 栗毛 米国産
【競走成績】
国内：12戦10勝 海外：1戦1勝
ジャックルマロワ賞(G1)、安田記念(G1)、スプリンターズS(G1)、
マイルチャンピオンシップ(G1)2回

【母の父として】
ストレイトガール：スプリンターズS(G1)
ワンアンドオンリー：日本ダービー(G1)
レーヌミノル：桜花賞(G1)

TRAINER 菊沢隆徳 調教師(美浦)

1970年2月10日生 千葉県出身
2011年開業 JRA通算237勝 ※成績は2023年7月6日現在

【主な管理馬】
ミッキースワロー：日経賞(G2)
ダイワキャグニー：エプソムC(G3)
アエロリット：NHKマイルC(G1)

Sire

父 コパノリッキー

2010年生 栗毛 門別産
【競走成績】
33戦16勝
東京大賞典(G1)、フェブラリーS(G1)2回、
JBCクラシック(JPN1)2回、かしわ記念(JPN1)3回

【直近3年の種付頭数】
2020年143頭、2021年130頭、2022年75頭

【代表産駒】
セブンカラース：東海ダービー(重)
エコクラージュ：楠賞(重)



©株式会社サラブレッド・ブリーダーズ・クラブ

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

明るく輝く栗毛の仔はピアレジーナの22年産。母に容姿が良く似ており、ピアレジーナと一緒に大きな夢を見ていた頃を思い出します。コパノリッキー産駒の本馬は自我が強く、良く言えば気位が高い、悪く言えば生意気な幼少期でした。一筋縄ではいかない雰囲気でしたので、繁殖スタッフたちがじっくりと人間との関係を教えながら育ててきた経緯があります。その甲斐あって育成部門に移るころにはだいぶ関係をつくることができていました。調教が進んでどう変わってくるかは分かりませんが、いわゆる負けん気や勝負根性などの前向きな力に変えることができれば、相当強いハートの持ち主になれると思います。馬体面では母同様に大型馬でパワーに恵まれており、母以上に洗練されたボディに成長してくれています。血統背景や父コパノリッキーの実績から鑑みても、ダートの中距離路線がターゲットになると見ています。